

2021 食育の取り組み



テーマ：野菜染めを楽しもう



実施日：2021年11月26日（金）～12月24日（金）

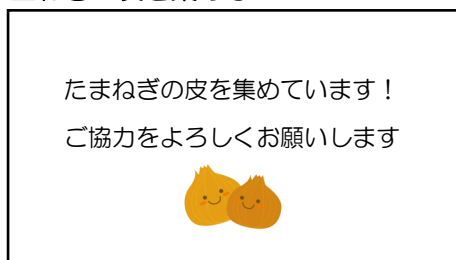
●取り組んだ動機（目標・ねらい）

- ① 普段食べている玉ねぎの皮に触れることで、子どもたちの野菜に対する興味・関心を育てるため。
 - ② 子どもたちが日本の伝統文化である「染物」に触れる機会を作るため。
 - ③ いつもは捨てている玉ねぎの皮を使用することにより、職員・家庭・子ども、共に廃棄物への意識を高めるため。
- SDGs：目標 12「つくる責任つかう責任」



●取り組んだ内容

① 玉ねぎの皮を集める



食育の一月ほど前から保護者の方へお声がけをさせていただき、給食室でも玉ねぎの皮を集め始めました。

② 布を輪ゴムでしばり、模様をつける



③ 染物当日の様子



今日はみんなが集めてくれた玉ねぎの皮を使って「やさいぞめ」をやります！



かさかさ♪ くんくん てざわりやにおいはどんなかな？

みんなで協力して洗濯ネットへ皮を入れていきます

~~~~~ 玉ねぎの皮を お鍋で  ぐつぐつ煮込みます ~~~~~



みんなは染める布の準備！



よく煮出した染液に、ひとりずつぽいっと入れてみます



自分だけの染物ができました♪



12月24日 クリスマス会  
クリスマスプレゼントのお菓子包みに活用しました☆

### ●工夫した点

- ①一か月ほど前から保護者の皆様へご協力をお願いすることにより、家庭からたくさんの玉ねぎの皮を譲っていただくことができた。
- ②布を縛るときは、まずは職員がお手本を見せた。縛り方を子どもたちに任せたことにより、子ども一人ひとり、素敵な模様ができあがっていた。

### ●子どもたちの反応

- ①玉ねぎの皮をネットに入れる前に、大きなトレーに玉ねぎの皮を広げ、触ったりにおいをかいだりした。「カサカサしてる！」「いいにおい」「へんなにおい～」と反応はさまざまだったが、みんな楽しそうに触れていた。
- ②染物後、園内で会うと「もう干してある？」「何色になった？」と話題にしてくれていた。
- ③屋上に干された染物を見つると「黄色いよ！」「わたしのどれ～？」「ぼくのこれ？」「(模様は) まるいね～」と感想を口にしたり、自分の作品がどれか職員に聞いたりしていた。

### ●今後の食育計画

今年度は園長やクラス担任と食育内容を話し合い、計画を立て（P）、実践し（D）、クラス担任と栄養士が活動に対する評価を行い（C）、来年度以降の食育に活かすため、実施後の食育計画書へ赤字で修正や記録を残した。コロナ禍によりクッキングを中止せざるを得ない状況だった分、当園では食育を実施する意味を改めて見つめ直せたと感じている。来年度は、今年度の食育活動を活かしつつ（A）、さまざまな「食」に関する体験をより深く実施し、子どもたちの「食」への興味・関心を伸ばすと共に、保護者の方とも一緒になって活動できるような取組を行っていきたい。